

第20回大和高田市立病院 ICLS コース報告

日 時：平成29年5月14日（日）8：30～17：15

対象者：全職種（医師・看護師・検査技師・放射線技師・臨床工学士・理学療法士・救命士）

参加者数：受講者：12名 インストラクター：20名

目的：突然の心停止に対する最初の10分間の対応と適切なチーム蘇生を習得する

〈内容〉

当院開催の日本救急医学会認定の ICLS コースも今回で20回目の開催となりました。

午前、全体でBLS 1/2を行った後にエアウェイブース・モニターブースに別れ、それぞれを40分間の実施体験を行いました。午後からは、シナリオステーションでした。デモンストレーションを見学した後に1グループ6人に別れ、シナリオ毎に目標を設定しブリーフィング・デブリーフィングを行ないました。目標の到達度を評価し、次のシナリオへ繋げることで個々の成長がチームとしての成長に繋がっていくのが目に見えていました。



一日をフルに使う長いコースですが、コース終了時は受講者の表情には達成感を感じているように思いました。また、インストラクターも次のコースに向けての更なる意欲をのぞかせていました。この受講が無駄にならないように継続した参加をお勧めします。

傷病者の異変に気づき、いち早く蘇生ができるスタッフが一人でも多く増えるように今後もこのコースを続けていきたいと思えます。ご協力いただいた方々に感謝いたします。（アンケート結果報告：別紙参照）

～BLS 講習会報告～

ICLS WG では、毎月第3火曜日に ICLS コースと同様の BLS 講習会を開催しています。5月は5名の方が講習会を受講されました。受講された方の制服の名札には、青色の受講証が入れられ BLS 講習会終了の証を表示されています。これからの活躍を期待いたします。



みなさんお疲れ様でした！

第 20 回大和高田市立病院 ICLS コースアンケート結果報告

1. 受講者職種と人数

初期研修医：1名 看護師：7名（4年目～24年目）
臨床検査技師：3名 救命救急士：1名

2. ICLS（二次救命処置）をご存知でしたか？

言葉だけ知っていた：6名 内容を知っていた：6名

3. 今回のコースの前に以下の項目をどの程度理解していましたか？

- ① 心肺停止の心電図分類 知らなかった（0名）・十分理解していなかった（9名）
知っていた（3名）
- ② 早期除細動の重要性 知らなかった（0名）・十分理解していなかった（10名）
知っていた（2名）
- ③ 除細動器の使い方 知らなかった（4名）・十分理解していなかった（5名）
知っていた（3名）
- ④ Bagvalvemask の使い方 知らなかった（2名）・十分理解していなかった（5名）
知っていた（5名）
- ⑤ 気管挿管の仕方 知らなかった（3名）・十分理解していなかった（4名）
知っていた（4名）・無回答（1名）
- ⑥ 気管挿管の介助の仕方 知らなかった（3名）・十分理解していなかった（4名）
知っていた（5名）

4. 実習内容はどの程度身につきましたか？（5段階評価 全くつかなかつた<5完全に身についた）

- ・BLS（ポケットマスクも含む） 1（0名）・2（0名）・3（1名）・4（8名）・5（3名）
- ・AED 1（0名）・2（0名）・3（1名）・4（4名）・5（7名）
- ・気道確保（BVM、挿管後の確認） 1（0名）・2（0名）・3（2名）・4（7名）・5（3名）
- ・気道確保（過換気を避ける） 1（0名）・2（0名）・3（2名）・4（7名）・5（3名）
- ・心停止の診断・4つの波形 1（0名）・2（0名）・3（0名）・4（10名）・5（2名）
- ・安全・迅速な除細動 1（0名）・2（0名）・3（1名）・4（6名）・5（5名）
- ・Mega-code（シナリオに応じた対応） 1（0名）・2（1名）・3（6名）・4（4名）・5（5名）

5. 今回のコースはご自身にとって意義があるものでしたか？（5段階評価 全くの無駄<非常に意義があった）

1（0名）・2（0名）・3（0名）・4（1名）・5（11名）

6. 特に意義があった印象に残ったことを教えてください

- ・実際の流れがわかった。手技をある程度取得できた
- ・質の高い胸骨圧迫の仕方を実際に行いながら教えてもらったのは有意義だった
- ・チームワーク、役割
- ・全てにおいて実際に使用するのが初めてだったので怖さがなくなった
- ・目の前に傷病者がいた時に今回のシナリオで練習したことがとても活かせると思った
- ・効果的な胸骨圧迫の方法、除細動の使い方
- ・情報が少ない中で、どのようにして情報を増やすか、何をすればいいのかを声を出し合ったため対応方法を理解することができた
- ・シナリオステーション
- ・いろんなケースのECGがあり分かりやすかった。落ち着いて行動することの大切さを知れた
- ・自分にとって新しい知識を得ることができる
- ・胸骨圧迫+気道確保の大切さ 続けることでチームで相談できる
- ・蘇生するチームに最後は仕上がったように感じた
- ・「質問」をするとチームの中で誰かが「答え」てくれるチームでした
- ・それぞれの役割や介助の仕方を改めて学べた

7. 実習での内容はあかりやすかったですか？

- ・インストラクターの方のフィードバックが要点を絞って頂いたのでわかりやすかった
- ・一つ一つの実習の前にデモストがあり、自分がやるときも説明しながら指導してもらえたのですごくわかりやすかった
- ・実習もあったので身につけることができたと思う
- ・初心者に対してもわかりやすく丁寧に指導してもらえて良かったです
- ・実際に行っているときにアドバイスがもらえるので改善しやすかった
- ・事前にテキストを読んでいれば難しいことはなかった
- ・細かく指導してもらいわかりやすかった

8. 全体として今回のトレーニングコースを評価してください（5段階評価 1<5）

12名全員が「5」評価でした

以上